



2024 年 2 月 21 日（水）

公益財団法人

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

マーケティング課 ブランド・チケットンググループ
（発表資料に関すること）

担当 加藤 尾崎 河野

電話：052-746-9607（ダイヤルイン）

調整課 調整・広報グループ（その他大会に関すること）

担当 安藤 浅野

電話：052-951-2026（代表）

ウェブサイト：<https://www.aichi-nagoya2026.org/>

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）マスコット制作検討委員会の設置について

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会では、開催都市契約において公式マスコットキャラクターを制作することと定められていることから、第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）のマスコットの制作を進めていきます。制作にあたって、透明性・公正性を確保し、制作方針やコンセプト等について客観的観点からご意見・ご助言をいただくため、有識者から構成される「制作検討委員会」を設置し、制作の検討をしてまいります（制作検討委員一覧は別紙 1 参照）。

1 委員

〔委員長〕 ひろむら まさあき
廣村 正彰 氏（廣村デザイン事務所代表取締役）

〔委員〕 あしづか ともふみ
芦塚 倫史 氏（中京大学 准教授）

いとう とよつぐ
伊藤 豊嗣 氏（名古屋造形大学学長）

えんどう じゅんじろう
遠藤 純二郎 氏（公益財団法人日本オリンピック委員会

TEAM JAPAN ブランドマネジメントディレクター）

たなか りさ
田中 里沙 氏（事業構想大学院大学学長）

みやした ひろし
宮下 浩 氏（グラフィックデザイナー）

2 議題（予定）

- ・制作方針の確認について
- ・公募要項承認について
- ・スクリーニング方法検討について

3 開催スケジュール

第 1 回 2024 年 2 月 21 日（水）

第 2 回 2024 年 3 月下旬を予定

※ 1）本委員会の第 1 回は対面・オンラインの併用で実施します。

※ 2）検討段階の情報の公開は、審議に影響を及ぼす可能性があるため、**委員会は非公開**とします。

※ 3）今後、開催日程、会議内容等については、組織委員会 HP にて随時更新してまいります。

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)マスコット制作検討委員一覧

制作検討委員長



廣村 正彰 グラフィックデザイナー 廣村デザイン事務所 代表取締役

1954年愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI、VI計画、サインデザインを手がけている。主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、9hナインアワーズ、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFTのアートディレクション、東京2020スポーツピクトグラム開発、WDO世界デザイン会議東京2023など。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞、DSA大賞ほか。著作『デザインからデザインまで』(ADP)他。

制作検討委員



芦塚 倫史 中京大学 スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科 准教授

民間企業でのスポーツビジネスのキャリアを経て、中京大学スポーツ科学部の専任教員に。同学部のスポーツマネジメント学科の設立時(2021年4月)より現職。「スポーツマーケティング論」、「スポーツマネジメント演習」、「ゼミナール(スポーツマーケティング)」および「ダイバシティ社会論」などの授業を担当している。英国の大学院の修士課程に留学し、経営学修士(サッカー産業MBA)を取得。



伊藤 豊嗣 グラフィックデザイナー 名古屋造形大学 学長

1958年三重県生まれ。1981年三重大学教育学部美術科卒業。1984年デザイン事務所設立。主な受賞歴に、公益財団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)ポスター大賞1993、JAGDA新人賞1994、第15回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ1996銅賞(ポーランド)、平成14年度名古屋市芸術奨励賞、上海万博(2010)・国際ポスターコンペティション名誉賞、第62回全日本広告連盟名古屋大会(2014)シンボルマークコンペ採用、Poster Stellars 2022 第2回国際ポスターコンペティション Political部門銅賞(アメリカ)他。



遠藤 純二郎 公益財団法人 日本オリンピック委員会
TEAM JAPANブランドマネジメント ディレクター

ブランドコンサルティング会社/ランドーアソシエイツ在職中、1994年に長野オリンピック組織委員会へ出向。長野オリンピック冬季競技大会に関わる各種ブランド開発、管理、運営を行う。2014年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ職員として勤務。マーケティング局ブランド開発部にてブランドディレクターとして大会デザインの計画策定、エンブレム、マスコットピクトグラム、グラフィックス等の開発準備/管理およびIOC/IPCとの折衝を行う。現在、日本オリンピック委員会においてTEAM JAPANブランドのマネジメント業務を行う。



田中 里沙 事業構想大学院大学学長

広報・広告・マーケティングの専門誌「宣伝会議」の編集長、取締役編集室長を経て、2016年に地方創生と新規事業の研究と人材育成を行う、学校法人先端教育機構「事業構想大学院大学」(名古屋校はJRゲートタワー27階)学長に就任。企業や自治体、他大学との連携による新事業、イノベーション、地域ブランディング等を企画し、推進する。「クールビズ」「育業」ネーミング、東京2020エンブレム、大阪・関西万博キャラクター、G7広島サミットロゴ等の審査員、政府広報アドバイザーのほか、審議会委員を務める。三重大学理事(広報・ブランディング担当)



宮下 浩 グラフィックデザイナー

1961年、愛知県岡崎市出身。愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。愛知産業大学造形学部デザイン学科准教授を退任後、現在、グラフィックデザイナー。主な受賞歴に、世界ポスタートリエンナーレトヤマ'97/'09 入選、おいしい東北パッケージデザイン展2017 審査委員賞(福島治賞)等。